NIE実践報告

1．タイトル：☆新聞に親しみ、新聞を活用しよう

2．学校名

兵庫県淡路市立中田小学校

3．実践者名（代表者名）

小松明美・柳本真美

4．学年

第4学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

総合的な学習の時間　17人

6．単元（本時の学習課題）名

思い出新聞を作ろう

7．目標（狙い）

1年間の心に残る思い出をわかりやすく新聞に表そう

8．評価の視点

自分の思いが書けたか
他から見てわかりやすいか

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

全指導時間　7時間

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

(1)1年間の中で心に残る出来事を思い出し、その中から特に印象的なことを2～3点に絞る。クラスの友だちとも情報交換する。
(2)5W1Hを意識しながらメモをとる。様子や気持ちも表すようにする。
(3)メモ程度であるが、記者に見てもらい、記事の書き方について指導を受ける。
(4)B4判1枚の新聞であるが、その構成について指導を受ける。その際実際の新聞を参考に使用する。記事の順位付けをし、小見出しの付け方、表記の仕方についても相談する。
(5)前時のことを頭に入れて、新聞の下書きをする。挿絵や写真の効果的な配置も考える。
(6)実際に新聞を作成する。
(7)記者に同席してもらい、一人一人の新聞についてコメントしてもらう。友だちの新聞について感想を述べる。今回の新聞作りについて感想を書く。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

とにかくゲストティーチャーとして、本物の新聞記者に来てもらったので、緊張の中にも頑張らねばという気持ちが常に表れていた。「文の表現をほめてもらいうれしかった。」「質問にも丁寧に答えてくれてよかった。」「また、新聞を作りたい。」「写真を選ぶのに苦労した。」

12．成果と課題

多いときで数社の新聞を見ることができ、改めて新聞の良さを考えることができた。今回、本物の新聞記者に指導を受け新聞作りができたことで、新聞作りのノウハウのようなものを一人一人全員がつかめた。できあがるまで長い時間かかったが、根気強く自分らしい新聞を作ろうと努力した。統一テーマであり、体験したことなので集中して取り組むことができた。実際の取材ができなかったのが残念だった。